

地元で大人気！

特産みよしの梅出荷ピーク



みよし市のあざぶ梅栽培振興協議会が栽培する同市の特産品「みよしの梅」が、まもなく出荷最盛期を迎えます。

26人の会員が同市筋生町を中心に、約7ヘクタールの果樹園で、小梅、青梅、南高を栽培しています。今年の生育はおおむね良好で、出荷は昨年より7日遅い5月17日から始まりました。収穫は6月上旬まで続き、約2トンの出荷を見込んでいます。

収穫した梅は、筋生公民館前の農産物集荷場へ持ち込み、一つ一つ等級ごとに選別した後、「みよしの梅」として地元スーパーなどで販売します。また、同農産物集荷場で直売も行い、特に人気の青梅や南高の時には行列ができるほど、地元利用者から好評です。

同協議会は、1999年から梅の栽培を始めました。愛知県の「畑地帯総合整備事業」で整備された畑や遊休農地を活用しており、比較的管理がしやすい土地で栽培していることが特徴です。今は「あざぶ梅の里」として、2～3月には梅の花が見られる有名スポットとなり、多くの人を楽しませています。



▲梅の実をブルーシートに落としてまとめて収穫します



▲集荷場に運んだ梅を手作業で選別します

2024年度あざぶ梅栽培振興協議会概況

栽培人数	26人
栽培面積	約7畝
栽培品種	小梅、青梅、南高
出荷量	約2トン（2024年度予定）

取材日

日時：5月24日（金） 午前8時30分～

集合場所：JAグリーンステーション三好（みよし市三好町上ヶ池1-10）

当日は、果樹園で青梅の収穫作業の取材後、農産物集荷場で選果作業の取材をする予定です。果樹園へはJA職員がご案内します。

※上記は予定日です。天候・生育状況により日程を変更する場合は、改めて連絡いたします。

※取材にお越しいただける方は、事前に下記までご連絡ください。

お問い合わせ先：

JAあいち豊田 営農生活部 三好営農センター 担当：蟹江

〒470-0214 みよし市明知町西ノ口84-3 電話（0561）32-1006

または、広報課 電話（0565）31-2361 E-mail k.koho@toyota.aichi-ja.or.jp

